

氏名： 米田 俊彦 (YONEDA Toshihiko)
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
学位： 教育学博士 (1989 東京大学)
職名： 教授
専門分野： 日本教育史 (教育制度・政策史)
E-mail： yoneda.toshihiko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

教育史／教育制度／教育法
history of education / system of education / education law

◆主要業績

総数 (5) 件

- ・「進路指導の原点をさぐる一歴史を通底するもの」(単著、耳塚寛明・牧野カツコ編『学力とトランジションの危機—閉ざされた大人への道—』金子書房、2007年12月、pp165-182)
- ・「戦後教育史の可能性を探る—高校教育史を中心に—」(単著、『日本の教育史学』第50集、教育史学会、2007年10月、pp154-160)
- ・「日本教育史の視点から」(単著、奈良女子大学プロジェクト「日本女子高等教育の研究」報告書『シンポジウム 日本の高等教育に占める女子大学の位置』、2007年5月、pp.11-14)

◆研究内容 / Research Pursuits

『近代日本教育法集成』の編纂を継続しています(すでに10年近くを費やしている)。大日本帝国憲法・各学校令制定前後から日本国憲法・教育基本法制定前後までの旧教育法を、一部抄録としつつ、主要なものの改廃を含め、すべて収録して、分類・体系化したものを編集しています。作業は最終段階に入っています。近代日本の教育法体系の構造や本質を明らかにすることを目的としています。

I am compiling "laws and ordinances in modern Japan". I am collecting and classifying laws and ordinances promulgated in the period from the end of 19 century to the end of the World War II. I want to explicate the structure and nature of system of education law in modern Japan.

◆教育内容 / Educational Pursuits

学部・大学院のいずれにおいても教育史、教育制度論などの授業を担当しています。専攻科目のほかに教職課程の授業も行っています。担当した卒業論文の題目は「幼保一元化論の歴史的展開」、修士論文の題目は「戦後教員養成の二年課程の考察」でした。

I am teaching subjects about the history of education or the system of education in the faculty and the graduate school. I teach subjects of teacher-training course, too. I led students who wrote graduation theses “the historical changes of the argument on unification of the education in kinder garden and the nurture of day nursery”, and a master’s theses “the 2 years’ training course of teachers in post World War II”.

◆研究計画

教育法制史の研究をまとめることができた場合には、戦後教育史、できれば農村地域にも広く展開した定時制高校（高等学校定時制課程）の実態を明らかにする研究に着手する予定で、少しずつ準備をしています。

◆メッセージ

私は教育の制度や現象を歴史的に考察する研究活動を行っています。歴史研究は、古い時代の事実を明らかにするばかりではありません。現代に直接かかわることがらについても、その経緯をみる必要があるはずです。歴史とは、領域であると同時に方法でもあります。歴史の事実を明らかにすることも大切ですし、ものごとを歴史的に捉える力量も大切です。このふたつのことを大切にしながら、教育史関係の授業を担当し、論文作成の指導をしています。